

長泉寺だより

真言宗 薬園山長泉寺

〒700-0807
岡山市北区南方3丁目10番40号
TEL(086)223-7450
FAX(086)221-0302
振込 岡山 01250-6-6418
ホームページ: www.chosenji.net

第 277 号



仏さまの「秘密」は一人でも多く、少しでも速く知ってもらいたいヒミツです。

秘めてかくしているのではない。人がまだ分らない、よく知られていないことが多い。

だから秘密は開示し、意味があきらかになるように願う。秘密にすればより関心を抱くことになる。これが真言「秘密」の願いで、密教と称するゆえんです。

今月6日、政府は「特別秘密保護法」を成立。国民に秘密、国家秘密がふえることになりました。

「秘密」って

ひともし

何が秘密とされるかわからないという「秘密」では厄介です。国民に不安、不信が広がりました。

密教の「秘密」は少しでも判りやすく、一人でも多く、「真実」を共有してほしいという願いなのです。解かれればじつに明瞭なことや、多くのまだ知れていないこと。たとえば「遍照光——見たことがありませんか」と問えば多く「いいえ」と応える。

秘密は簡単。今年も歳末ですが新年はぜひ「遍照光」を見てほしい。明るい人生になります。
ヨ。
(光)

初薬師祈願祭

年詞／茶・華 新春正月8日(水) 午前9時 開白
ご詠歌・コーラス

大般若経転読法会

清興「津軽三味線」 えびな 蛸名宇摩さん
中食法餐会



※1年の無事を祈るご祈祷札をお申込み下さい。1願：2,000円

祈りの秋

十一月二十一日、永代
供養樂陽廟にて、合同の
慰霊祭「春秋祭」が行わ
れ、約三〇名が出席。永
代経、十三佛真言をお唱
えし、各家精霊に回向を
捧げました。

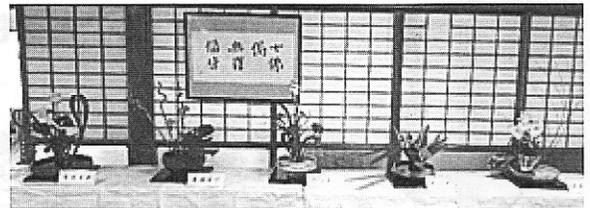
また、当山戦没者を祀る「安
らぎの塔」の前では、「平和祈
願祭」が行われ、約五〇名が参
加。無念たる想いで亡くなられ
た方々に心を寄せ、未来の平和
を祈りました。

樂陽廟3階供養壇増設工事

12月初旬、表題の工事が行われ、
新たに遺骨・位牌供養壇 28 基、遺
骨供養壇 48 基が増設されました。
合わせて2階のカーペットの新調もさ
れ、15年経ち老朽化していた部屋
が綺麗に整いました。

この度お位牌の移動についてご理
解賜りました各家の皆様には、心よ
り感謝申し上げます。

長泉寺文化祭



十一月二十一日
から二十四日まで、
当山「御室流華道
部」、「書の会」の
作品展示会が客殿
で開催。二十一日
は「茶道部」によ
る茶席も開かれ、
参加者で芸術の秋
を満喫しました。

岡山商科大学で住職が講義

社団法人・岡山経済同友会は、岡山商大と
のタイアップにて、ボランティアプロフェッ
サー事業「経営人材育成プログラム」を開催。
当山の龍門住職もRNN人道援助宗教NGO
ネットワークの真言宗代表として、九〇分
の講義を先月二回行いました。
「宗教は人のあり方を説くが、それはまさに
法人のあり方でもある。」と話し、学生一八
〇名に宗教の大切を伝えました。



当山五百周年事業や、東日本大震災復興支援など、数々の功績を残した第十二期総代会が締めくくられ、六月より新たに第十三期がスタート。新総代の皆様と共に、より良いお寺のあり方について議論を深めた一年であつた。

その総代会総会では、真言教主大日如来の三身(法身・報身・応身)を証すことにより「即身成仏」に到るといふ大師のご教示に則し、左記の運営方針を決議。手前味噌ではあるが、宗教法人の未来型運営デザインを描いていると思う。

- ◆法身(存在) 「この法人そのものが仏であれ」
- ◆報身(目的) 「三世(過去・現在・未来)に遍照の光を灯せ」
- ◆応身(働き) 「三密(身・口・意)加持せよ」

「法身」とは、仏性(成仏の可能性)の確認と、修習し精進す

る日頃からの自身の「あり方」そのものを言う。お寺で言えば、檀信徒が憩い、安らぎ、目覚める宗教の展開と、その「場」の提供であり、それは宗教法人として備えておくべき基本的な姿である。その実現、発展のために新総代会では、総代会が寺院運営の決議し、世話人会が事業を行う、いわゆる「法人運営」の徹底と、同様に明朗な財務管

「す！」という言わば宣言文でもある。長泉寺は、「過去に生き残った方々が我々に託した思いを確認し、自らが輝き、周りを照らし、未来に責任を持つて生きることを檀信徒および広く社会に提唱したい。」

「応身」とは「働き」のことで、具体的な実践を示す。それは「身口意」で表される三密の加持によると大師は言われた。つまり



一年回顧

龍門

理、さらには、職員の育成、檀信徒の教化により「宗教力の成長」を成し得たいと考えている。「報身」とは言わば「目的」のことだ。真言宗では、密教を恵

果和尚に授けられ「遍照金剛」という密号を生きた大師の願いがそれである。「南無大師遍照金剛」とは、「私は、弘法大師のように、過去、現在、未来にいたるまで、遍く光を照らしま

「行動・言葉・こころ」である。これを当山の具体的な活動で言え、**「社会奉仕」、「言論活動」、「法要」**に当たる。これら「三身」が一体となるところに「即身成仏」が実現する。真言宗御室派長泉寺のあるべき姿であろう。

今年、通常檀務、定期法要のほか、岡山県仏教会の後援を

いただいている「こころをつなぐ虹プロジェクト」や、RNN人道援助宗教NGOネットワークで「東日本大震災」をはじめとする被災地への支援、岡山における防災への取り組みのほか、岡山への避難者・移住者の方々との交流を数多く持った。また、「脱原発をめざす仏教者ネットワーク岡山」を立ち上げ、隔月のイベントと「原発は仏教に反す」という幟を掲げての行進を運営。事務局として忙しく過ごした。

その他にも「岡山ユネスコ協会」、「岡山宗教者九条の会」、「同和問題に取り組む岡山県宗教教団連絡会議」の役員として活動の一端を担い、各々で貴重な経験をさせていただいた。

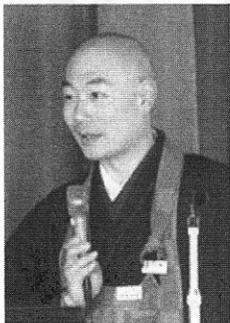
来年も宗教者、仏教者に求められている多大な課題について、しっかりと勤めて参りたい。



災害時における宗教施設のあり方を考える

十一月八日、黒住教本部神道山にて、当山もメンバーとして関わる「RNN人道援助宗教NGOネットワーク」と、岡山県ボランティア活動推進「ゆうあいセンター」との共催により、表題の催しが開かれました。

東日本大震災発生時、岩手県大槌町にて、津波避難者二五〇名をご自坊に受け入れ、約3ヶ月にわたって避難所を運営した曹洞宗吉祥寺住職・高橋英悟師の講演と、宗教法人必読本『寺院備災ガイドブック』を著作されたBNN仏教NGOネットワーク・自覚大道師によるワ



ークショップが行われ、参加者で研鑽を積みました。当山からも総代・世話人様らが参加し、近い将来に予想される「南海トラフ大地震」発生時に、当山がどうあるべきか、共に学びました。

原発は仏教に反す

脱原発をめざす仏教者ネットワーク岡山は、十一月十二日北区中央町蔭涼寺（臨濟宗妙心寺派）にて「第3回脱原発結集」を開催。元共同通信社・土井淑平さんが「人形峠ウラン残土問題」について講演をされ、その歴史と内容を詳しく解説。

終了後は、「原発は仏教に反す」と書かれた幟を掲げて、岡山駅まで行進を行い、一心念誦堂・佐伯隆快師の法螺貝に合わせて「原発をやめよう！命を守ろう！」とシュプレヒコール。原発は使用済み核燃料の処理のみならず、採掘残土処分においても人間対立を招いてしまいました。その反省をなしに、原発推進は許されません。



次回「脱原発結集」は、一月二十日（月）午後一時より蔭涼寺にて。講師は、福島県いわき市在住の曹洞宗僧侶・田中徳雲師。避難区域である南相馬市にあるご自坊に、鉛の袈裟をつけて毎日通われる方です。

第十一回九条と宗教を語る会

十一月二十六日、表題の会が当山で開かれ、岡山バプテスト教会牧師・梅田環師が講演。ご自身の戦争体験から九条の存在意義について、尊いお話を賜りました。主催：岡山宗教者九条の会。

次回：二月四日（火）十八時半

於：長泉寺

「仏教的平和論」

提題者：宮本龍門

ご自由にご参加下さい

—各会の1年の精進—

総代会

第十二期総代長橋本時夫氏（万成西町）がご退任され、第十三期は、岩見徹氏（谷万成）が新総代長、浅尾宗治氏（伊福町）が副総代長に就任。渡辺進氏（南方）、丸山惣一氏（竹田）が総代を継続され、前監査役の大西健一氏（湊）が新たに総代に就任。監査役には、安宅敬祐氏（広瀬町）が留任され、金田勉氏（原尾島）が就任。

寺院規則の見直しのほか、境内伽藍の整備事業、永代供養「楽陽廟」のリフォーム事業など、熱心な協議が続いています。

ボランティア基金会

浅尾宗治会長のもと、「東日本大震災」被災地継続支援のほか、今年度発生「山口県洪水被害」、「フィリピン台風被害」等に取り組みました。皆様からの心のこもった浄財を、RNN、AMD Aを通じて、各被災地支援事業に届けています。

ご詠歌会

寺内各法要のほか、総本山仁和寺で開いた「おむろ桜有明コンサート」や、市内真言寺院での法要で奉詠。平成二十七年「高野山開創二二〇〇年祭」では、金剛流ご詠歌の活躍が欠かせません。新規メンバーも広く募集しています。

和讃会ゴスペラーズ

佐々木英代先生ご指導のもと、各法要で歌声を響かせています。四月には総本山仁和寺で開かれた「おむろ桜有明コンサート」で「岡山女声合唱団・華」と共演。『花は咲く』、『祈り』、『アンパンマンのマーチ』など、話題曲にも取り組みました。

書の会

島村鐵二先生ご指導のもと、毎月二回の開催。黄庭堅や良寛、空海、孔子廟碑など、歴史的名書を臨書したほか、オリジナルな作品にも取り組みました。

御室流華道教室

赤澤徹進先生ご指導のもと、毎月の薬師縁日、大師縁日に献花。境内が麗しく彩られました。また、華道展や文化祭へ出品。多くのメンバーが師範級に成長しました。

写経会

毎月二回の縁日法要で写経を実施。『般若理趣経百字の偈』を書写し、ご本尊様にお供えています。「般若」の智慧を養い、菩薩の心に触れています。参加乞う。

杖心会

今年「おせがき行」で伊予の国・松山と砥部を参拜。来年は奈良巡礼を行い、「日本仏教の元祖「南都仏教」を学びます。ご期待ください。

表千家茶道教室

山口雅弘先生ご指導のもと、毎月2回、楽しくお稽古をしました。日本各地の美味しい和菓子をいただきながら、深い日本文化に触れました。

2014年 南都仏寺院巡礼の旅

◆参拝予定寺院

元興寺・東大寺・法隆寺・薬師寺・興福寺・西大寺・大安寺・唐招提寺・久米寺・当麻寺・宝山寺・朝護孫子寺・長谷寺・室生寺 他

詳細決まり次第ご案内します。

